

<タイプ1>

- ・司馬遼太郎さんの本は、2冊程読んだことがあるが、私自身に影響を与えたのは確かです。
- ・梅棹忠夫の、「人が言ったことを引用するのではなく、無いものを見つけるために調べる。」という言葉が響いた。独創こそが大事であると学んだ。

<タイプ2>

- ・飯田亮の人生鳥瞰図を見て、やはり人との出会い関係はとても重要なのだと再確認された。
- ・梅棹忠夫さんについて興味を持った。自分で考えて行くという行動力がすごいなと思った。そういう生き方ができるような人材になっていきたい。
- ・「何も知らないことはいいことだ」に共感した。
- ・梅棹忠夫さんに興味を持った。リーダーの大切さも改めて感じた。リーダーは押されてなる。その通りだと思った。柳井正さんの人生鳥瞰図を見て、柳井さんの生き様や暮らし、やってきたことが良く分かった。
- ・将棋の香車に自分を例える人がいるのには驚いた。
- ・司馬遼太郎が何をした人か知らなかった。資料に載っているURLやHPを見ようと思った。
- ・司馬遼太郎の生き様を知り、強く興味を持った。この機会に1冊読んでみようと思う。項羽と劉邦が気になるので、私の世界を拡げてみようと思った。
- ・私の弟は遼太郎という名前です。司馬遼太郎からとったと父が言っていました。

<タイプ3>

- ・梅棹忠夫の文章は引用がほとんどないことに驚いた。尊敬する人生の師は、サッカー選手の小笠原満男です。もう一度しっかり調べて人生鳥瞰図を完成させたい。
- ・自分の理想に合った人、共感できる人をモデルにしたい。「生き方」に注目して鳥瞰図を書いていこうと思います。
- ・司馬遼太郎さんは、歴史を深く知るための人であると感じます。
- ・課題は司馬遼太郎さんでも良いかもしれない。
- ・司馬遼太郎は「この国のかたち」というシリーズを書いていた。「国(くに)ではなく土(つち)」と書きたかったそうだ。
- ・上杉謙信について書こうかと思っている。

<タイプ4>

- ・梅棹忠夫先生の「本を読む理由は誰も言っていないことを探すため」という考え方には非常に感心した。オリジナルの言葉を生み出そうとする姿勢を自分も持ちたいと思う。
- ・梅棹忠夫さんの言葉にとっても強い感銘を受けた。
- ・司馬遼太郎は相当頭が良い人間だと分かった。私も世の中を冷静に見ることが出来る人間になりたいと思った。

<タイプ5>

- ・司馬遼太郎について印象に残った。
- ・レポートを書く人物は実在した人物でなければいけないか教えてほしい。好きなキャラクターなどではだめでしょうか？司馬遼太郎さんは良いと思ったが、ロールモデルにするにはあと何か少しほしいと思った。
- ・司馬遼太郎の本を読んでみようと思った。レポートは野口英世にしようと思っている。
- ・本当の学者は引用をやらない、現代の学者は引用をしていると言っていたが全くその通りだと思った。
- ・レポートについて詳しく知れて助かった。司馬遼太郎さんの動画を観たことが無かったので楽しめた。好きなのはドラマ化もきっとしていない「夏草の腑」という作品です。
- ・柳田國男の生き方は普通の人とは異なるものだった。日本文化のアイデンティティの在り方を調査している点は興味深かった。
- ・講義で司馬遼太郎の描く歴史に興味湧いた。
- ・司馬遼太郎の考え方が良く分かった。日本を素晴らしい国だと訴え続けていくとすごく偉大な人だと思った。柳井さんは、自分より頭の良い人を採用することが印象に残った。課題は、ただ図にするだけでなく、その人の考え方や人生観を参考にしたいと思う。
- ・人生戦略で学ぶことを探し、キャリアを磨く。
- ・梅棹忠夫さんと先生が話された言葉が印象に残っている。「本を読み過ぎるとバカになる」

<タイプ6>

- ・柳井正の人生鳥瞰図としてとても良く特徴をつかみ見やすい形になっていた。これ一つで柳井正の全てが分かる。
- ・知らないことをバネにして自分の考えを持つようにしたい。自分の人生のモデルになる人を何人か見つけて自分と比較して何が違うのかを考えてみようと思った。
- ・梅棹忠夫の言葉は、どこか共感できるものが多かった。
- ・椎名誠にしようと思う。
- ・野口英世に決めました。
- ・来週には決めようと思う。
- ・司馬遼太郎の言葉に感銘を受けた。今度本を購入し読んでみようと思う。
- ・司馬遼太郎の物事の捉え方や考え方に興味を持った。「坂の上の雲」を読みたいと思った。

<タイプ7>

- ・人生鳥瞰図はすごく便利な図だと思った。この図は誰が考えたのですか？
- ・梅棹忠夫さんは、眼が見えなくなっても本を書き続けていくとすごいなと思った。「できないことを何とかしようとするよりも、できることを楽しんだ方がいい。出来る事の中に結構たくさん楽しいことがありますから。」が素晴らしいと思った。
- ・梅棹忠夫さんのように、引用するのではなく自分の考えを大切にしたい。モデルは、flumpoolの山村隆太さんです。バンドのボーカルです。
- ・自分は芸術家のダリを目標にしようと思う。
- ・ミスター負けず嫌いと評された大隈重信を掘り下げてみる。
- ・梅棹忠夫さんの「なんにもしらないことはよいことだ」という言葉に関心を持った。
- ・「隊長は『わしが、わしが』ではなくて、押されてなるものや」という言葉が印象に残った。レポートもそろそろ取り組まなければいけないので調べ始めていきたいと思えます。教室が暑すぎて集中できません。
- ・古賀政男音楽記念館へ行ってみたい。
- ・自分なりのプランを立て進めていこうと思った。日本史が好きなので歴史で登場する人物について調べる予定。

<タイプ?>

- ・司馬遼太郎の「坂の上の雲」を読みました。明治時代の近代国家やその時代を生きた人の生涯が描かれていてとても勉強になりました。
- ・勉強というものは誰かの真似をすることではないと感じた。
- ・「九鬼と天心」は精力的に執筆を続けた北康利の最新作で、とてもよい作品でした。
- ・やはり自分と偉人とは思考回路が違うと感じた。モデルはまだ決まってない。
- ・司馬遼太郎が印象に残った。「坂の上の雲」を読んでいた。
- ・司馬遼太郎記念館にも行くほどファンで、とても面白くお話が聞けました。
- ・梅棹忠夫さんに興味を持った。「何も知らないことはよいことだ」という彼の生き様がすばらしいです。
- ・司馬遼太郎さんに興味を持った。「街道をゆく」は好きです。
- ・偉人はやはり一つの筋を持っている。私も自分の信念を貫き、気を持って行きたいと思えるようになった。
- ・司馬遼太郎のことを深く知れて良かった。
- ・「人の言っていないことを探すために本を読む」という言葉が印象に残った。人の真似ばかりするのではなく、自分の強い意志を持っていてすばらしいと思った。
- ・司馬遼太郎の作品は数々読んでいたので、今回の講義はとても面白かった。司馬遼太郎の作品が大河ドラマなどで有名になっていくのは嬉しい。ドラマで気になったものは是非小説の方も読んでほしいと思った。
- ・人物を人生鳥瞰図で描くと改めて人物の生き方を整理できるのでとても良いと思った。
- ・今回はレポートの詳細が出たので、コツコツとやっついこうと思います。
- ・司馬遼太郎さんは、壮絶な人生であった事がうかがえた。本屋で司馬遼太郎さんの本を探してみようと思った。
- ・司馬遼太郎本人のことは知らなかった。勇気がある人だと思った。
- ・司馬遼太郎の太閤記を読みたい。
- ・梅棹忠夫先生は、学ぶ身からして見習うべき尊い存在のお一人であると思った。

- ・人生鳥瞰図を見て、自分も人生を見つめ直す必要があると分かった。
- ・プロ野球選手かサッカー選手で悩んでいる。司馬さん原作のドラマを観てみたいと思った。
- ・紹介された人物の一人ひとりの思いというものを知った気がします。
- ・飯田亮と柳井正の人生鳥瞰図を見て、図を用いてその人を見ることは楽しく分かり易く興味が湧く内容だった。私自身、鳥瞰図を参考に自分の価値観を見つけられるきっかけにできればと考えている。
- ・司馬遼太郎という人物は、名言が数多く残されている意味がよく分かった。「竜馬が行く」を、是非読んでみたいと思った。
- ・面白かった。
- ・「人生鳥瞰図」は人がどんな事をやってきたのかが分かり易くなると思った。
- ・司馬遼太郎さんの、昭和以前の方が頭が良く知的だという話を知らなかったため調べてみたいと思った。
- ・司馬遼太郎さんの凄い所は、本を出す度に200万部は絶対に売れるということだ。

<タイプ8>

- ・岡本太郎に決めました。
- ・どうやって価値観を手に入れるのか、仕事を手に入れるのかが分かった。
- ・司馬遼太郎は日本の戦争を経て日本の歴史を見直した。梅棹忠夫、何も知らない方がいい。ユニクロの柳井さんはあまり好きではないが、図を見ると家庭には恵まれてないが出会いには恵まれているなどと思った。
- ・司馬遼太郎さんは、亡くなった後でも本が売れるのはすごい。
- ・人生鳥瞰図がとても分かり易く見やすかった。イチローで人生鳥瞰図を書いてみたいと思った。
- ・講義で興味を持ったので冬休みに読んでみたい。
- ・自分にあった仕事を選ぶ。沢山本を読む。失敗は財産になる。人生とは経験である。
- ・司馬遼太郎さんが印象に残った。人生を真似したいと思います。

<タイプ9>

- ・ロールモデルから探したい。